

<日本都市学会 2010 年大会テーマ>

横断国土軸と都市の再生

日本都市学会会長 佐々木公明

関東都市学会会長 浦野 正樹

北関東自動車道が 2011 年 9 月に全通する。これにより太平洋岸のひたちなか市から日本海岸の上越市まで高速道路で結ばれる。こうした日本列島を横断する高速道路は、東海北陸道の開通など各地で見られる。また、北陸新幹線も 2014 年には長野一金沢間が開通する。これまでの縦貫軸中心の高速交通体系に横断軸が加わることで、日本各地で多様な地域形成・都市形成が可能になってきた。

成長著しい中国をはじめとする東アジアとの関係を考えた時、日本海沿岸の都市発展が必要となろう。横断国土軸の形成による環太平洋経済圏と環日本海経済圏の一体化は日本海沿岸都市の活性化に大きく寄与すると考えられる。また、太平洋岸中心の縦貫軸形成によって拠点性を低下させつつあった内陸都市も、縦貫道と横断道の結節で新たな発展が期待できる。さらに、新しい横断軸の開発によって、これまで日の当たらなかつた地域や内陸小都市群にも観光開発など活性化の機会が出てきている。まさに 2010 年日本都市学会大会の開催地・高崎市は、3 つの高速道路・2 つの新幹線が結節する内陸交流拠点都市として大きく変化しつつある。

そこで 2010 年日本都市学会大会では、横断国土軸形成が太平洋・日本海両岸の都市や内陸都市へ与える影響について、その光と影を検証することをテーマとしたい。具体的には、政治・社会経済・文化的な側面からのアプローチがあろう。たとえば、横断国土軸が市町村合併や道州制問題への様々な影響に関する研究もあろう。横断国土軸による物流の変化が都市発達に与える研究もあろう。他方で、政権交代によって基盤整備や横断国土軸の形成にも影が見られるが、その是非に関する研究もあろう。その他様々な視点から、横断国土軸が都市の在り方や都市構造、国のかたちに与える影響を考え、東アジアの成長を見据えた知識情報化社会における都市の再生に関する活発な議論を期待している。